

特別養護老人ホーム 第二天神の杜



- 絆 -

第40号

2021年9月30日発行



敬老会

第二天神の杜 家族の会
特別養護老人ホーム 第二天神の杜

第二天神の杜 納涼祭

※今回はお一人おひとりのスナップ写真をピックアップしました。



8月27日・30日

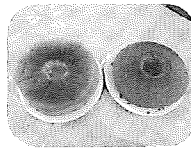




ユ ニ ッ

わかくさ

7月4日 小西絹子様 お誕生日
シフォンケーキを焼いてお祝いました。



9月5日 西村千代子様 お誕生日
好きな散らし寿司を作りお祝いました。

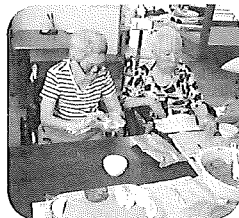
さわらび

8月21日 夏祭り
ユニットで夏祭りを行いました。ゲームを行い、夜店風の食事を食べ花火をして楽しみました。

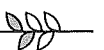
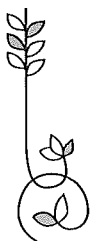


なでしこ

7月22日 餃子パーティー
昼食に手作りの餃子を食べました。



8月3日・23日 お誕生日会
ユニットで伊関様99歳、山田様91歳のお祝いをしました。



ト 報 告

ききょう

7月2日 手作りパン
 ユニットで一から作った焼きたてのパンをいただきました。



7月25日 近藤様、お誕生日と快気祝い
 87歳のお誕生日と退院をみんなでお祝いしました。

はぎ

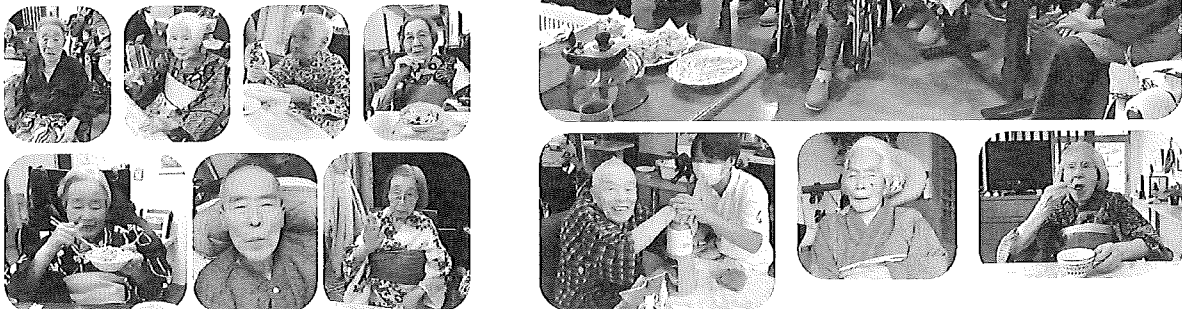
7月25日 トマトカレーと冷製スープ
 カレーをおかわりされる方もいて、とても美味しかったです。



7月31日 散歩とトマトの収穫
 屋上へ散歩に出かけたり、トマトを収穫したりしました。

こぐり

8月13日 ユニット夏祭り
 全員浴衣姿でかき氷、素麺を食べた後、花火を楽しみました。





ふれあい広場

このコーナーでは、家族様や入居者様のお話を中心に
取り上げています。家族様から寄せていただいたお話
をご紹介します。

母 鵜飼久枝

鵜飼 里美



私は長男の嫁です。私が母に聞いた話等を基に紹介したいと思います。母は京都市の今熊野というところで兄2人・姉3人・母・妹・弟の8人兄弟で育ったそうです。河原町のおばさん・西洞院のおばさんの2人の姉と妹のかよさんとよく行き来していて、主人達も子供の頃は、いとこ同士も交流していたと聞いています。

戦争で疎開していた時に滋賀に行き、そこで父に見染められて結婚して滋賀で暮らすことになったそうです。私達が長岡京市に引っ越したことを機に同居を始め現在に至ります。

滋賀に居た時には、外資系の薬品会社にパート勤めをしていて実験の器具を整えたり、動物のお世話をしたりしていたと聞いています。数年前に他界した父は「昭和の男」といった人だったので苦勞をしたと思います。それでも先程お話しした姉や妹の影響で日本舞踊をしたりと楽しい時間を過ごしていたようです。

おしゃれが好きで、キラキラした物やかわいい小物が大好きなので、まだ元気だった頃は、1人で京都にお墓参りに行った帰りやお姉さんの家に行った帰りなどに四条河原町のデパートや京都駅の伊勢丹などに行き、色々見て歩いたり、買い物したりと楽しんでいました。

病気・骨折した後、去年の秋頃から第二天神の杜さんで生活をさせていただくことになりました。職員さんやご一緒にさせていただいているお仲間の方々と色々な行事に参加させていただいている母の楽しそうな笑顔を見るにあたり、本当にご縁があつて良かったなあとつくづく感じております。

主人の妹と2人で面会に行くことも多いのですが、行くたびに顔色も良くなりふっくらとして元気そうな母の姿を見て、「入居させていただけたことに感謝しかないね」と話しています。

コロナ禍で閉鎖的になった世の中が早く解消し、自由に行き来できる様な日が早く戻って欲しいと願うばかりです。

9月17日（金）長岡京市長 中小路健吾様 ご来訪

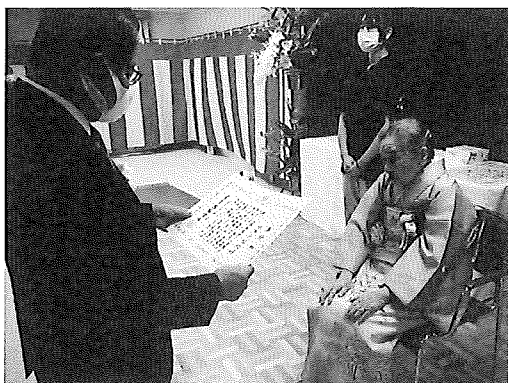
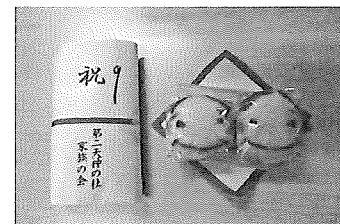
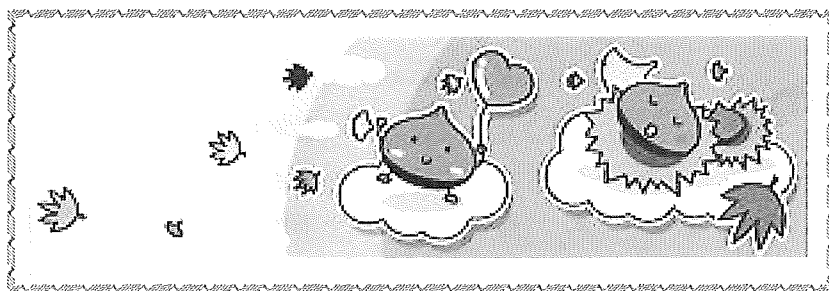
9月17日に、長岡京市長 中小路健吾様が長岡京市の男性最高齢である田中武夫様のお祝いに来設されました。今年の11月12日で106歳のお誕生日を迎えられる田中武夫様は、いつものように明るくお元気に表彰状とお祝いの品をお受けになり、和やかなひと時を過ごされました。



9月20日（祝日）第二天神の杜 敬老会

敬老の日の昼食に入居者の皆様にはお祝い御膳をご用意して、美味しそうに召しあがっていらっしゃいました。また、家族の会からは紅白饅頭を贈呈していただき、入居者の皆様はお爺さんとお婆さんの優しい顔が描かれた饅頭を見て喜んでおられました。ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、入居者様への感染防止を最優先に考慮して昨年と同様に式典への参加者を、表彰や記念品の贈呈を受けられる入居者様とその家族様、関係する最小限の職員に限定して実施しました。



施設からのご挨拶

施設長 千葉 功貴

コロナ禍で私たちの日常生活が一変し、施設においてもこの1年半以上、感染対策の徹底を余儀なくされました。これまで当たり前のように実施していた行事や地域交流やボランティア活動の受入れを中止し、家族様にも面会自粛という制限を設けるという、今までに想像していないことが今なお続いております。感染対策の一つとして京都府高齢介護課から「高齢者施設でのクラスター回避」の目的で施設職員向けにPCR検査を6月・7月・8月上旬・8月下旬・9月上旬と下旬の計6回実施して参りました。6回とも職員全員陰性という結果でしたが、まだまだ気が抜けない緊張の日々が続いております。

コロナ禍でも入居者の方に少しでも季節を感じていただきたいという職員からの声もあり、「納涼祭」を8月27日・28日に日を分けて開催致しました。『輪投げ・射的・焼きそば・たこ焼き・綿菓子・スムージ・飲み物』を用意し、職員は甚平・法被姿で、夏の風物詩を演出していました。それ以外でもユニット毎の食彩企画なども実施し、穏やかな暮らしの中に、いつもと違う楽しみを感じてもらえるような取り組みもしております。

もうしばらく、このような状態が続くと思われませんが、感染対策に十分注意しながらも入居の方には楽しいひと時を過ごしていただきたいと思っております。

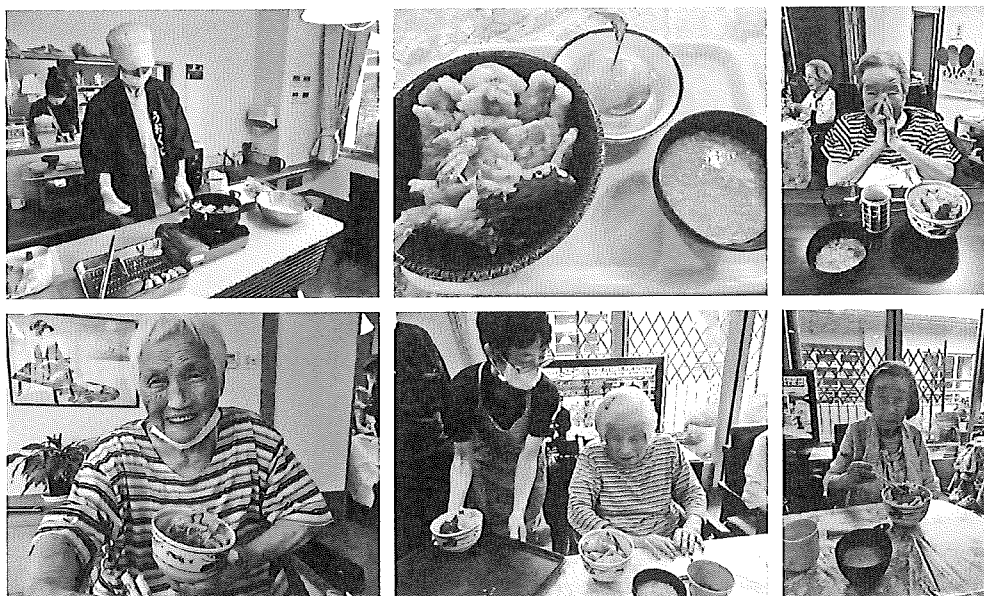
家族様におかれましても、長期間ご不自由をおかけ致しますが引き続き、感染対策へのご理解とご協力をお願いいたします。



食彩企画（厨房とのコラボ企画）



ユニットこぐりで「天井を食べて暑い夏を乗り切ろう」と企画しました。入居者様の目の前で赤海老や穴子、カボチャや大葉を揚げた天ぷらを、ごはんが見えなくなるくらいに載せると、皆様は笑顔で覗き込んでおられました。なかでも赤海老の天ぷらは柔らかくて食べやすく、天ぷらをおかわりする入居者様もおられました。また桃をふんだんに使ったゼリーは甘くて柔らかく、皆様は大きな口を開けて召しあがっておられました。



社会福祉法人 長岡京せいしん会 住所 〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺竹ノ下19番地
特別養護老人ホーム第二天神の杜 Tel (075) 959-1220 (代表) Fax (075) 957-2112

ホームページアドレス <http://www.tenjin-no-mori.or.jp>

[掲載する内容、写真に関しては、あらかじめ家族様より許諾を得て掲載させていただいております。]